

2022 年度事業報告

2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 道普請人

1. 事業の成果

事業国	事業名	資金源
a) ケニア	1. メル郡における道路整備部門からの生活向上支援*	世界銀行経由 日本社会開発基金 (JSDF)
	2. ケニアの NDC のための森林・土地再生行動 (FLaRAK) プロジェクト*	国連開発計画 (UNDP) 日本政府補正予算事業 2022
b) ウガンダ	難民と受入コミュニティの強靱な回復力のための人道支援、開発、平和構築の連携促進*	国連開発計画 (UNDP) 日本政府補正予算事業 2021
c) エチオピア	給水施設復旧事業を通じた災害への対応力強化 *一部国内事業 (専門家派遣)	国連労働機関 (ILO) 日本政府補正予算事業 2021
d) スーダン	ハルツーム州マヨ地区における若者と共に行うコミュニティレジリエンスの構築 (道路補修) *	国連労働機関 (ILO) 日本政府補正予算事業 2021
e) マダガスカル	グリーン・ワークでの雇用創出と干ばつ被害からの回復力向上、COVID-19 危機への支援*	国際労働機関 (ILO) 日本政府補正予算事業 2022
	JICA 道路研修 在外補完研修 土のう工法実習	JICA マダガスカル: 公益財団法人北海道国際交流・協力総合センター
f) シエラレオネ	COVID-19 による社会経済的影響からのコミュニティレジリエンスと復旧強化事業*	国際移住機関 (IOM) 国際連合信託基金
g) ルワンダ	「土のう工法」研修の全国展開とルワンダ国の自律的な未舗装道路整備体制の確立に向けた体制づくり	令和 3 年度外務省 N 連
	ギシュワティ-ムクラ森林公園周辺の自然を守る-持続可能な農業の促進を通して	2022 年度公益信託経団連自然保護基金
h) ザンビア	元難民再定住地域内の住人を対象とした道路補修研修*	外務省 N 連: NPO 法人難民を助ける会 (AAR) への協力
i) ブルキナファソ	ブルキナファソ国内ボランティア対象土のう工法研修*	JICA ブルキナファソ
j) 東ティモール	コーヒー生産者組合に加盟するクロロ集落での住民参加による道路整備事業	公益財団法人 日本国際協力財団
k) バングラデシュ	現地 NGO と連携した住民参加による道路整備事業	公益財団法人 日本国際協力財団
l) 日本	15 周年行事、講演、広報活動	団体自己資金

*当事業は、現地事務所での活動 (活動計算書には含めず)、N 連: 外務省 NGO 連携無償資金協力

2022 年度 本部事業収入合計：48,358,320 円

2022 年度 現地事務所事業収入合計：266,087,640 円

1. 事業の実施に関する事項

1. 事業名、2. 事業内容、3.事業実施期間、4.事業実施国・地域、5. 従事者数、6. 裨益者、7. 事業費について下記にまとめる。

a) ケニア

ケニア_1 *ケニア事務所受託事業
事業名)

メル郡における道路整備部門からの生活向上
支援（世銀事業：日本社会開発基金（JSDF）

事業内容)

- a. 若者参加型の支線道路補修
- b. 若者グループの雇用創出支援

事業期間)

2021 年 4 月～2025 年 6 月

実施国、地域)

ケニア共和国、メル郡

従事者数)

3 名（木村、福林、岩村）

裨益者)

メル郡対象若者 50 グループ 合計 1,250 名

事業費)

USD 986,080（合計：USD 2,750,000）

ケニア_2 *ケニア事務所受託事業

事業名)

ケニアの NDC のための森林・土地再生行動
（FLaRAK）プロジェクト（国連開発計画（UNDP）
日本政府補正予算事業 2022）

事業内容)

20 小学校における育苗場の建設と育苗・植林技
術支援

事業期間)

2022 年 10 月～2023 年 3 月

実施国、地域)

ケニア共和国、ナロック郡・ウワシンギシュ郡、
エルゲヨマラクエット郡、カカメガ郡、ビヒガ
郡

従事者数)

3 名（木村、福林、岩村）

裨益者)

5 郡 20 小学校の生徒合計 9,190 名

事業費)

USD 300,000

b) ウガンダ *ウガンダ事務所受託事業

事業名)

難民と受入コミュニティの強靱な回復力のた
めの人道支援、開発、平和構築の連携促進（国連
開発計画（UNDP）（日本政府補正予算事業
2021））

事業内容)

- a. 土のうを用いた道路補修技術支援
- b. 難民居住区内の道路建設技術支援
- c. 省エネ型簡易かまど作成技術支援
- d. 森林回復のための植林技術支援

事業期間)

2021 年 9 月から 2022 年 5 月

実施国、地域)

ウガンダ共和国、アジュマニ県・オボンギ県

従事者数)

3 名（木村、福林、岩村）

裨益者)

アジュマニ県・オボンギ県の難民及びホストコ
ミュニティ住民 1,320 名

事業費)

USD 97,132（合計：USD 437,095）

c) エチオピア *ケニア事務所受託事業

一部国内事業有（専門家派遣）

事業名)

ソマリ州ジジガ市におけるため池作成（国連労

働機関 (ILO) (日本政府補正予算事業 2021))

事業内容)

住民参加によるため池作成

事業期間)

2021年10月～2022年5月

実施国、地域)

ソマリ州ジジガ市

従事者数)

4名(木村、福林、田川、岩村)

裨益者)

事業実施地域の住民約1,400人

事業費)

USD 82,140 (合計: USD 574,979)

うち国内事業費 450,780円

d) スーダン *ウガンダ事務所受託事業

事業名)

ハルツーム州マヨ地区における若者と共に行
うコミュニティレジリエンスの構築(道路補修)
(国連労働機関(ILO)(日本政府補正予算事業
2021))

事業内容)

土のうを用いた道路補修技術支援

事業期間)

2021年11月～2022年5月

実施国、地域)

スーダン共和国、ハルツーム州マヨ地区

従事者数)

3名(木村、福林、岩村)

裨益者)

事業実施地域の住民約13,500人

事業費)

USD 62,170 (合計: USD 373,001)

e) マダガスカル

マダガスカル_1 *ウガンダ事務所受託事業

事業名)

グリーン・ワークでの雇用創出と干ばつ被害か
らの回復力向上、COVID-19への支援(国連労働
機関(ILO)(日本政府補正予算事業 2022))

事業内容)

a. 土のうを用いた道路補修技術支援

b. 土壌・水源保全手法を用いたモデル・ファ
ームの作成における技術支援

c. 育苗・植林技術支援

事業期間)

2022年9月～2023年3月

実施国、地域)

マダガスカル共和国、南部アンボアサリ地区・
ベキリー地区

従事者数)

3名(木村、福林、岩村)

裨益者)

訓練参加者 500名

事業費)

USD 310,000

マダガスカル_2

事業名)

JICA 道路研修在外補完研修(仏語圏対象)

事業内容)

JICA 道路研修にオンライン参加(本来は、行政
官が日本に来て受ける研修)した仏語圏研修生
からの要請を受けた、現地での土のう工法の研
修(JICA マダガスカル事務所、公益財団法人北海
道国際交流・協力総合センター)

事業期間)

2022年6月

実施国、地域)

マダガスカル アンタナリボ

従事者数)

3名(木村、福林、千葉)

裨益者) マダガスカル、ベナン、コンゴ、コン
ゴ民、マリの道路関係省職員 13名

事業費)

1,475,995円

f) シエラレオネ *ウガンダ事務所受託事業

事業名)

COVID-19による社会経済的影響からのコミュ

ニティレジリエンスと復旧強化事業（国際移住
機関（IOM）（国際連合信託基金））

事業内容)

若者を対象としたコミュニティアクセス道路
補修技術移転

事業期間)

2022年11月～12月

実施国、地域)

シエラレオネ共和国、フリータウン市

従事者数)

3名（木村、福林、岩村）

裨益者)

訓練参加者 30名

事業費)

USD 57,004

g) ルワンダ

ルワンダ_1

事業名)

「土のう工法」研修の全国展開とルワンダ国の
自律的な未舗装道路整備体制の確立に向けた
体制づくり（2年次、3年次）（外務省 R3、R4 年
度 N 連）

事業内容)

農村道路整備組合代表者を対象としたコミュ
ニティアクセス道路補修技術移転

事業期間)

（2022年3月～2023年3月）（2023年3月～
2024年3月）

実施国、地域)

ルワンダ共和国、北部州 5 郡

従事者数)

3名（木村、福林、千葉）

裨益者)

訓練参加者 250名 道路周辺住人 20000人

事業費)

37,795,107円+904,852円 38,699,959円

ルワンダ_2

事業名)

ギシュワティ-ムクラ森林公園周辺の自然を守
る-持続可能な農業の促進を通して（2022年公
益信託経団連自然保護基金）

事業内容)

丘陵地における土壌保全と植林

事業期間)

2022年3月～2023年3月

実施国、地域)

ルワンダ共和国、ンゴロレロ郡

従事者数)

3名（木村、福林、千葉）

裨益者) 500人

事業費)

1,723,819円

h) ザンビア *ルワンダ事務所受託事業

事業名)

「メヘバ元難民再定住地における農業を通じた
生計活動支援（第2年次）」における、道路補修
への協力（外務省 N 連事業：NPO 法人難民を助
ける会（AAR））

事業内容) 元難民の再定住地域内の住人を対象と
した未舗装道路整備研修

事業期間)

2022年4月～5月

実施国、地域)

ザンビア共和国、メヘバ地区

従事者数)

3名（木村、福林、千葉）

裨益者) 54人

事業費)

USD 3,300

i) ブルキナファソ *ルワンダ事務所受託事業

事業名)

ブルキナファソ国内ボランティア対象土のう
研修（JICA ブルキナファソ）

事業内容)

ブルキナファソの国内ボランティアを対象と
した短期土のう研修

事業期間)

2022年12月

実施国、地域)

ブルキナファソ ワガドゥグ市

従事者数)

3名(木村、福林、千葉)

裨益者)

31名

事業費)

USD 2,800

j) 東ティモール

事業名)

コーヒー生産者組合に加盟するクロロ集落での住民参加による道路整備事業(2022年度国際協力NPO助成成長型事業-NPO法人パルシックとの連携)

事業内容)

土のうを用いた道路補修技術支援

事業期間)

2022年4月~2023年3月

実施国、地域)

東ティモール アイナロ県マウベシ郡

従事者数)

3名(木村、福林、田川)

裨益者) 200人

事業費) 4,169,198円

k) バングラデシュ

事業名)

現地NGOと連携した住民参加による道路整備事業(JICF)(2022年度国際協力NPO助成成長型事業)

事業内容)

土のうを用いた道路補修技術支援

事業期間)

2022年4月から2023年6月

実施国、地域)

バングラデシュ人民共和国・ロンプール管区・ディナジプール県・パルガオン村

従事者数)

3名(木村、福林、川合)

裨益者)

パルガオン村の少数民族(Santal)150名

事業費)

1,971,937円

l) 日本

事業名)

国内・講演・広報など共通事業

15周年記念行事

事業内容)

- a. 各地で講演会、広報資料作成、配布
- b. 15周年記念行事での講演、動画制作、広報資料作成、配布

事業期間)

2022年4月から2023年3月

実施国、地域)

日本国内

従事者数)

10名(木村、岸田、日下部、児島、瀧川、田中、若山、中井、福林、川勝)

裨益者)

国内、不特定多数

事業費)

5,701,789円

参考 2022年度 事業報告 事業所別

事業国	No.	事業名	資金源	事業費合計	通貨	22年度事業費	契約事業体
a) ケニア	1	1.メル郡における道路整備部門からの生活向上支援（4年事業）*	世銀事業：日本社会開発基金（JSDF）	2,750,000	USD	986,080	CORE Kenya
	2	ケニアのNDCのための森林・土地再生行動（FLaRAK）プロジェクト*	国連開発計画（UNDP）日本政府補正予算事業2022	300,000	USD	300,000	CORE Kenya
b) ウガンダ	1	難民と受入コミュニティの強靱な回復力のための人道支援、開発、平和構築の連携促進*	国連開発計画（UNDP）日本政府補正予算事業2021	437,095	USD	97,132	Core Uganda
c) エチオピア	1	給水施設復旧事業を通じた災害への対応力強化*一部国内事業	国連労働機関（ILO）日本政府補正予算事業2021	574,979	USD	82,140	CORE Kenya
d) スーダン	1	ハルツーム州マヨ地区における若者と共に行うコミュニティレジリエンスの構築（道路補修）*	国連労働機関（ILO）日本政府補正予算事業2021	373,001	USD	62,170	CORE Uganda
e) マダガスカル	1	グリーン・ワークでの雇用創出と干ばつ被害からの回復力向上、COVID-19危機への支援*	国際労働機関（ILO）日本政府補正予算事業2022	310,000	USD	310,000	CORE Uganda
	2	JICA道路研修 在外保管研修 土のう工法実習	JICAマダガスカル：公益財団法人北海道国際交流・協力総合センター経由	1,475,995	円	1,475,995	道普請人
f) シエラレオネ	1	COVID-19による社会経済的影響からのコミュニティレジリエンスと復旧強化事業*	国際移住機関（IOM）国際連合信託基金	57,004	USD	57,004	道普請人
g) ルワンダ	1	「土のう工法」研修の全国展開とルワンダ国の自律的な未舗装道路整備体制の確立に向けた体制づくり	令和3年度外務省N連	-	円	37,795,107	道普請人
	2	ギシュワティ-ムクラ森林公園周辺の自然を守る-持続可能な農業の促進を通して	2022年度公益信託経団連自然保護基金	1,723,819	円	1,723,819	道普請人
h) ザンビア	1	元難民再定住地域内の住人を対象とした道路補修研修*	外務省N連:NPO法人難民を助ける会(AAR)への協力	3,300	USD	3,300	CORE Rwanda
i) ブルキナファソ	1	ブルキナファソ国内ボランティア対象土のう工法研修*	JICAブルキナファソ	2,800	USD	2,800	CORE Rwanda
j) 東ティモール	1	コーヒー生産者組合に加盟するクロロ集落での住民参加による道路整備事業	公益財団法人 日本国際協力財団	4,169,198	円	4,169,198	道普請人
k) バングラデシュ	1	現地NGOと連携した住民参加による道路整備事業	公益財団法人 日本国際協力財団	1,971,937	円	1,971,937	道普請人
h) 日本	1	15周年行事、講演、広報活動	団体自己資金	5,701,789	円	5,701,789	道普請人

2022年度事業費合計

USD=132

道普請人(本部)	円	52,894,849	
CORE Kenya (ケニア事務所)	USD	1,368,220	180,605,040
CORE Uganda (ウガンダ事務所)	USD	469,302	61,947,864
CORE Rwanda (ルワンダ事務所)	USD	6,100	805,200

合計

円

296,252,953

農村部の貧困に苦しむ人々の
やる気と自信を引き出すために

「自分たちの道は自分たちで直せる」

という意識を広げたい

2022年度上期活動概要



ケニア: 世銀事業開始セレモニーでのトー理事のスピーチ

ケニアでは今後3年間にわたる世銀事業が開始しました。
エチオピアでのため池建設が完了し、スーダンでの土のう
道路維持管理訓練・補修も完了。新型コロナウイルスの影響も落ち着き、専門家の派遣指導も開始しています。

2022年度上半期活動内容

主な活動	2022					
	4	5	6	7	8	9
ケニア						
世界銀行: 日本社会開発基金 (JSDF) (木村、福林、岩村)*1						
UNDP 日本政府補正予算事業 2021 (木村、福林、岩村)*1						
UNDP 日本政府補正予算事業 2022 (木村、福林、岩村)*1						
ルワンダ						
外務省令和3年度 NGO 連携無償資金協力事業第2期2年次 (木村、福林、渡辺、千葉)						
公益信託経団連自然保護基金 (木村、福林、千葉)						
ウガンダ						
UNDP 日本政府補正予算事業 2021 (木村、福林、岩村)*2						
その他事業国						
エチオピア : ILO 日本政府補正予算事業 2021 (木村、福林、田川、岩村)*1						
スーダン : ILO 日本政府補正予算事業 2021 (木村、福林、岩村)*2						
マダガスカル : ILO 日本政府補正予算事業 2022 (木村、福林、田川、岩村)*1						
マダガスカル : 北海道国際交流・協力総合センター経由 JICA 道路維持管理 (E) コース (木村、福林、千葉)						
東ティモール : (公財) 日本国際協力財団 パルシックとの協働 (木村、福林、田川)						
バングラディッシュ : (公財) 日本国際協力財団 ローカル NGO による草の根事業支援 (木村、福林、川合)						
国内						
広報活動 (木村、岸田、日下部、田中(稔)、瀧川、児島、若山、中井、福林、川勝)						

* 1 ケニア事務所契約事業 * 2 ウガンダ事務所契約事業

主な助成事業等

事業名: メル郡における道路整備部門からの生活向上支援

資金協力団体: 世界銀行日本社会開発基金 (JSDF)

事業期間: 2021年11月から2025年6月 (ケニア)

事業名: ケニアにおける暴力的過激主義、紛争および災害による影響を受けた生活に対する統合的な対応と回復

資金協力団体: UNDP (国連開発計画) 2021年度日本政府補正予算事業

事業期間: 2021年10月から2022年5月 (ケニア)

事業名: ケニアの国が決定する貢献のための森林、土地の回復事業(意識)

タイトル: The Forestry and Land Restoration Action for Kenya's Nationally Determined Contribution (NDC)(FLARAK)

資金協力団体: 国連開発計画 (UNDP) 経由 2022年度日本政府補正予算

事業期間: 2022年9月から2023年3月 (ケニア)

事業名: 難民と受入コミュニティの強靱な回復力のための人道支援開発、平和構築の連携促進

資金協力団体: UNDP (国連開発計画) 2021年度日本政府補正予算事業

事業期間: 2021年9月から2022年6月 (ウガンダ)

事業名: ハルツーム州マヨ地区における道路補修

資金協力団体: ILO (国際労働機関) 2021年度日本政府補正予算事業

事業期間: 2021年12月から2022年6月 (スーダン)

事業名: ソマリ州ジジガ市におけるため池作成

資金協力団体: ILO (国際労働機関) 2021年度日本政府補正予算事業

事業期間: 2021年10月から2022年6月 (エチオピア)

事業名: グリーン・ワークでの雇用創出と干ばつ被害からの回復力向上、COVID-19危機への支援

資金協力団体: 国際労働機関 (ILO) 経由 2022年度日本政府補正予算

事業期間: 2022年9月から2023年4月 (マダガスカル)

事業名: 土のうによる道直し研修

資金協力団体: 北海道国際交流・協力総合センター (HIECC) 経由

2022年 JICA 道路維持管理 (E) コース

事業期間: 2022年4月から2022年6月 (マダガスカル)

事業名: ルワンダ国の農村の貧困削減と自律的な発展に向けた農道整備体制の確立(第2年次)

資金協力団体: 外務省、令和3年度日本 NGO 連携無償資金協力

事業期間: 2022年3月から2023年3月 (第2フェーズ) (ルワンダ)

事業名: ギシュワティ-ムクラ森林公園周辺の自然を守る-持続可能な農業の促進を通して

資金協力団体: 公益信託経団連自然保護基金

事業期間: 2022年4月から2023年3月 (ルワンダ)

事業名: 現地 NGO と連携した住民参加による道路整備事業

資金協力団体: 日本国際協力財団 ローカル NGO による草の根事業支援

事業期間: 2022年4月から2023年3月 (バングラディッシュ)

事業名: コーヒー生産者組合に加盟するクロロ集落での住民参加による道路整備事業

資金協力団体: 日本国際協力財団 パルシックとの協働

事業期間: 2022年4月から2023年3月 (東ティモール)



みちぶしんびと

認定NPO法人

道普請人

主な広報活動

月日	内容
4月6日	2022年度「京都ヒューマン賞」を受賞しました。
5月25日	「経団連自然保護協議会」だよりに木村理事長の寄稿が掲載されました。
6月8日	第5回JAPANコンストラクション国際賞【特別賞(先駆的事業活動部門)】を受賞しました。
6月18日	2022年第1回通常総会を開催いたしました。
9月26日	積算資料2022年10月号に福林理事、ウガンダ駐在員岩村が寄稿いたしました。

活動報告

ルワンダ

- ・N連2年次の事業地での道直し訓練、渡辺専門家による施工計画指導、事業開始ワークショップを実施しました。
- ・ルワンダ事務所のエンジニアがザンビアにおける難民を助ける会において、難民の再定住地における道直しの指導に派遣されました。
- ・マダガスカルとブルキナファソにエンジニアが派遣され、JICAが企画した研修の道直し指導員を努めました。



渡辺専門家と施工地のモニタリング



ブレラ郡 道直し訓練

ウガンダ

- ・北部アジュマニ県、オボンギ県において、1,320名を対象とした道路補修、かまど作成、育苗・植林トレーニングが完了しました。彼らが活動を続けていけるよう組織化し、ビジネス支援パッケージを供与しました。(UNDP補正予算)



若者グループに対する道直し訓練

ケニア

- ・2022年4月にメル郡にて郡知事ら参席の下、事業開始セレモニーを開催しました。今後約3年間で約26kmの支線道路の幹線道路へのアクセスを向上する予定です。(日本社会開発基金)
- ・また、9月に国内5郡20小学校において、育苗場の整備を開始しました。(UNDP補正予算)



事業開始セレモニー後の集合写真



世銀ミッションとの道路箇所視察

エチオピア

- ・ソマリ州ジジガ市において280名の若者を行う計7基のため池建設が完了し、周囲の住民および家畜の水へのアクセスが向上しました。2022年4月には田川専門家が現地に渡航し、現地の住民に熱血技術指導を行いました。(ILO補正予算)



技術指導を行う田川専門家



ため池の水を汲みに来た子どもたち

スーダン

- ・ハルツーム市における300名の若者を対象とした土のう道路維持管理訓練が完了し、3.25mの市中道路を補修しました。(ILO補正予算)



地域の清掃作業 ▶

マダガスカル

- ・南部アンボアサリ地区、ベキリー地区における事業を開始しました。道路2km補修、2ヘクタールのモデルファームの整備、植林による50ヘクタールの土地の緑化を目指します。(ILO補正予算)



道路整備に積極的に参画する女性たち

東ティモール

- ・特定非営利活動法人パルシックと連携し、コーヒー生産組合に加盟する集落の、市場へのアクセス道路を整備しました。(日本国際協力財団)
- ・2020年3月に現地調査以来、コロナ禍で延期していた道路整備を、ついに実施することができました。



集落の人々と田川専門家

坂部での横断側溝の施工とコンクリート舗装

バングラデシュ

- ・ミャンマーでの事業継続を断念し、バングラディッシュにて、現地NGO, Gram Bikash Kendra (GBK)と連携し、農道整備を行うことになりました。(日本国際協力財団)



バルガオン村の住民との集会



対象道路の調査

施工延長 (2022年9月末現在)

	累計 (m)	2022年度 上半期 (m)
ケニア	49,958	4,000
ルワンダ	6,138	939
ウガンダ	31,700	0
その他	134,082	3,661
計	231,373	8,600

認定NPO法人です!

問合せ先

京都市より「運営組織及び事業活動が適正であり公益の増進に資する」と認定を受けています。当団体へのご寄付は税制優遇の対象となります。詳しくは当団体ホームページへ

NPO法人 道普請人

事務局: 福林良典

Tel: 075-343-7244

E-mail: info@coreroad.org

URL: <http://coreroad.org/>

農村部の貧困に苦しむ人々の
やる気と自信を引き出すために

「自分たちの道は自分たちで直せる」

という意識を広げたい

2022年度下期活動概要



アフリカ仏語圏諸国のインフラ省職員を対象に土のう工法の研修を実施。マダガスカルにて行われ、ルワンダ事務所スタッフが現地で講師を担当。

2022年12月3日で、設立15周年を迎えることができました。記念すべき年に、オムロン基金京都ヒューマン賞、第5回Japanコンストラクション国際賞を受賞することができました。次の15年に向けて、初心を忘れずぶれずに活動を続けてまいります。今後も、当団体活動にご期待ください。



みちぶしんびと

認定NPO法人 道普請人

2022年度下半期活動内容

主な活動	2022			2023		
	10	11	12	1	2	3
ケニア						
世界銀行：日本社会開発基金(JSDF)(木村、福林、岩村)*1						
UNDP日本政府補正予算事業 2022(木村、福林、岩村)*1						
ルワンダ						
外務省令和3年度NGO連携無償資金協力事業第2期2年次(木村、福林、渡辺、千葉)						
公益信託経団連自然保護基金(木村、福林、千葉)						
その他事業国						
マダガスカル：ILO日本政府補正予算事業 2022(木村、福林、岩村)*2						
シエラレオネ：IOM国際連合信託基金事業(木村、福林、岩村)*2						
ブルキナファソ：JICA 国内ボランティア研修(木村、福林、千葉)*3						
東ティモール：(公財)日本国際協力財団 パルシックとの協働(木村、福林、田川)						
バングラデシュ：(公財)日本国際協力財団 ローカルNGOによる草の根事業支援(木村、福林、川合)						
国内						
広報活動(木村、岸田、日下部、田中(稔)、瀧川、児島、若山、中井、福林、川勝)						

*1 ケニア事務所契約事業 *2 ウガンダ事務所契約事業 *3 ルワンダ事務所契約事業

主な助成事業等

事業名：メル郡における道路整備部門からの生活向上支援

資金協力団体：世界銀行経由日本社会開発基金(JSDF)

事業期間：2021年4月から2025年6月(4年事業)(ケニア)

事業名：気候の非常事態に対応し、ネットゼロエミッションと気候変動に強い開発を達成するための、国が決定する貢献の活用(ケニアのNDCのための森林・土地再生行動(FLaRAKプロジェクト))

資金協力団体：UNDP(国連開発計画)2022年度日本政府補正予算事業

事業期間：2022年10月から2023年3月(ケニア)

事業名：ルワンダ国の農村部の貧困削減と自律的な発展に向けた農道整備体制の確立

資金協力団体：2022年度公益信託経団連自然保護基金

事業期間：2022年3月から2023年3月(ルワンダ)

事業名：ギシュワティ-ムクラ森林公園周辺の自然を守る-持続可能な農業の促進を通して

資金協力団体：外務省日本NGO連携無償資金協力(N連)第2年次

事業期間：2022年4月から2023年3月(ルワンダ)

事業名：グリーン・ワークでの雇用創出と干ばつ被害からの回復力向上、COVID-19危機への支援

資金協力団体：ILO(国際労働機関)2022年度日本政府補正予算事業

事業期間：2022年9月から2023年3月(マダガスカル)

事業名：COVID-19による社会経済的影響からのコミュニティレジリエンスと復旧強化事業

資金協力団体：IOM(国際移住機関)国際連合信託基金

事業期間：2022年11月から2022年12月(シエラレオネ)

事業名：現地NGOと連携した住民参加による道路整備事業

資金協力団体：公益財団法人日本国際協力財団(JICF)

事業期間：2022年4月から2023年6月(バングラデシュ)

事業名：コーヒー生産者組合に加盟するクロロ集落での住民参加による道路整備事業

資金協力団体：公益財団法人日本国際協力財団(JICF)

事業期間：2022年4月から2023年3月(東ティモール)

主な広報活動

月日	内容
11月1日	ルワンダ事務所ボランティア活動を行った高校生、宮崎倅仁君の活動が高知新聞で紹介されました。
11月8日	雑誌「建設マネジメント技術」11月号に、第5回Japanコンストラクション国際賞の受賞団体として紹介されました。
11月30日	ルワンダ事務所職員が、マダガスカルで実施されたJICA道路維持管理研修の在外補完研修で、講師を務めました。研修の様子が、北海道国際交流・協力総合センター機関誌で紹介されました。
12月3日	道普請人は、設立15周年を迎えました。
12月17日	道普請人設立15周年祝賀会を、リーガロイヤルホテル京都にて65名の参加を得て行いました。
1月15日	東ティモール・マウベシ郡クロロ集落に至る道路整備事業の様子が、連携するNPO法人パルシクのHPで紹介されました。
2月16日	在ルワンダ日本大使館にて、令和4年度外務省日本NGO連携無償資金協力の在外供与契約の署名式が行われました。署名式の模様が現地メディアに掲載されました。
3月16日	第18回「TOTO水環境基金」の助成団体に決定しました。
3月30日	JICAブルキナファソ事務所の要請で行った、土のう工法の技術移転による道直しの様子が、現地メディアで報道されました。

活動報告

ケニア

・日本社会開発基金(世銀経由)の下、メル郡の若者563名(20グループ)に対し道路維持管理技術訓練を実施し、合計10,830mの都市アクセス道路を補修しました。訓練を修了した20グループの中小企業起業支援を続けています。



土のうの敷設

・日本政府補正予算(UNDP経由)の下、国内5郡の20小学校にて育苗場の建設を行い、小学生と協力し65万株の苗木の生産に成功しました。育苗場は各学校に引渡し、今後地域の緑化のために住民主導の植林が続けられます。



育苗の手順を学ぶ環境クラブ



20の小学校に整備完備した育苗場

マダガスカル

・日本政府補正予算(ILO経由)の下、南部アンボアサリ地区、ベキリ一地区において計500名の農民を対象に道路補修、土壌・水源保全手法を用いたモデルファームの作成、育苗・植林トレーニングを実施しました。



アンボアサリ地区での道直し訓練

シエラレオネ

・国際連合信託基金(IOM経由)の下、首都フリータウンにて30名の若者に対する土のう工法技術移転訓練を実施し、300mのコミュニティアクセス道路を補修しました。耐久性の高い土のうの道は政府・住民から大変喜ばれました。



訓練を修了した30名の若者

ルワンダ

・N連事業の一環でブレラ郡にて行ったウムガンダ(国民奉仕の日)での道直しには大勢の地域住人に商工業高校の学生100名と近隣駐屯地の軍50名もさんかし、にぎやかに行われました。
・N連事業地の北部5郡にて道路周辺環境整備として、植林を行いました。



ルワンダ事務所スタッフのSifaが、ブルキナファソ(ギチュンビ郡)植林活動に集まった地域住民にて、現地の若者へ土のう研修を行いました



ブルキナファソ

・JICAブルキナファソ事務所からの依頼で、ブルキナファソ国内ボランティア16名を対象に土のうによる道直しの研修を行いました。仏語に堪能な、ルワンダ事務所スタッフが講師として派遣されました。

バングラデシュ

・ディナジプール県パルガオン村の住民20人とともに農村道路整備事業を実施しました。パルガオン村ではSantalと呼ばれる少数民族が生活しており、その生活基盤向上に大きく寄与する取り組みとなりました。



開通式、中央は事業を担当したインターンの川合氏



パルガオン村での道路訓練

東ティモール

・NPO法人パルシクと連携し、その事業地であるクロロ集落にて道路整備を行いました。坂部の約200mのコンクリート舗装が完成しました。



郡知事も参加して行われた完工式

施工延長 (2022年3月末日現在)

	累計 (m)	2022年度 下半期 (m)
ケニア	60,788	10,830
バングラデシュ	955	150
マダガスカル	1,250	1,210
その他	181,098	528
計	244,091	12,718

認定NPO法人です!

問合せ先

京都市より「運営組織及び事業活動が適正であり公益の増進に資する」と認定を受けています。当団体へのご寄付は税制優遇の対象となります。

詳しくは当団体ホームページへ

認定NPO法人 道普請人

事務局: 福林良典

Tel: 075-343-7244

E-mail: info@coreroad.org

URL: <http://coreroad.org/>